

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	NewStep大阪2nd吹田青葉丘教室		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	工夫した活動プログラムの提供	通所する児童がまずは楽しく、その中で習得や経験という機会をたくさん設けられるような環境やプログラム設定を毎日行っています。祝日や長期休みの際には、外活動や制作、調理等の活動を取り入れる事で固定化しないようなプログラム設定を行っています。	児童一人ひとりのやる気や積極性や、自信、自己肯定感の向上を図るため、取り組みの内容だけでなく、その場の環境面にも配慮を行い、どんどん楽しく取り組める環境作りにも力を入れていきます。
2	職員に対する学びの機会の提供	姉妹事業所と連携を図りながら各種委員会を開催し、その時々で必要な研修を計画的に行う事で、必要な知識の習得を図っています。外部研修にも積極的に職員を派遣し、日々の支援に活かしています。	社会情勢や通所する児童の状況等も含めて、更に効果的な学びの機会を設けていけるよう、引き続き各種委員会を通して幅広い知識習得を図り、より良い療育へと繋げていきます。
3	職員間での情報共有	事業所での事前準備の段階で多角的な視点から児童の特性把握、対応手法等について情報共有・意見交換等を行っています。事業所内ツール等も通して幅広く周知を行っています。	更に幅広く情報共有を図り、充実した関わり、サポートが行えるように職員間で連携の強化を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の拡大と充実	事業所より保護者向け会報の発行を行っていますが、発行の時期が不定期なこともあり、事業所からの周知事項等について、周知漏れに繋がる可能性が考えられます。	引き続き定期的な会報配布に向けて事業所内で運営面での整備を進めていきます。事業所からの伝達情報等についても漏れ等なく周知が図れるように更なる改善を進めていきます。
2	保護者との連携面の強化	随時ご案内をしている部分ではありますが、更に強化を図りたいと考えている部分となっています。定期的にゆっくりと情報共有出来る機会を設けていく事で、連携面の強化を図りたいと考えています。	通所時のみではなく、更に面談（連携機会）を定期的に設けていけるように提案を行っていく事で、お互いの情報共有を更に深めていきます。
3	地域交流機会の増加	日々の公園遊びや課外活動、お買い物等の機会での交流は設けていますが、現状では地域交流については十分ではないと考えています。	社会情勢や保護者からのニーズも踏まえて、また、通所している児童の安全面等も考慮しながら、引き続き地域との交流についても検討を行っていきます。